



理事長 山本 勝則

ごあいさつ

平素は、私ども富士宮信用金庫をご支援、ご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。

本年もみなさまに当金庫についてのご理解を一層深めていただくために、ディスクロージャー誌「みやしんの現状2019」を作成いたしました。

本誌では、当金庫の経営理念にもとづくビジョンや業績・経営状況に加え、事業内容、地域とお客さまへの取り組み状況などをわかりやすく紹介しておりますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

昨年のわが国経済は、好調な企業業績および雇用・所得環境が消費を支え、緩やかな回復軌道をたどりました。その一方で、米国による過度な保護主義政策、先行きの見えない米中貿易戦争、米国・イランの関係悪化による混乱などから、世界経済の先行き不透明感が増しており、また、国内においては人口減少による国内市場の縮小、深刻な人手不足が私たち信用金庫の取引先である中小企業の経営に影響を及ぼし、足元の地域経済は、好景気といわれる割には回復を実感できていないのが実情であり、わが国は更なる経済の持続的成長に向けて、その力が試されている状況にあると言えます。

当金庫はこのような環境下、令和元年度を次なる5年、10年に向けた持続可能なビジネスモデルの構築に挑む年として、役職員一人ひとりが、お客さま・地域の課題解決と活性化に向け、営業基盤の強化に資する活動とサービスの充実・強化に取り組んでおります。

日本銀行による金融緩和策が継続されるなか、当金庫では、担保・保証に過度に頼らず、中小企業の事業実態の把握と定性面をしっかりと分析した事業性評価を通じた融資を積極的に推し進め、中小企業のライフステージに応じた課題解決のお手伝いをさせて頂くとともに、磐石な経営基盤の構築と顧客本位の営業、地方創生への取り組みを強化し、顧客満足度の向上に資するため邁進しております。また、地域の信頼の証である預金量の増加にも引き続き注力し、預金・融資の推進は一体のものであると留意して取り組んでおります。さらに当金庫は、コンプライアンス（法令等遵守）の徹底、コーポレートガバナンス（企業統治）の体制強化を図り、経営の公正性・透明性の確保に努め、役職員の職業倫理意識の醸成に取り組んでおります。

国内外の政治、金融、経済情勢の変化が急速に進展しつつあるなか、フィンテック企業による金融業への参加や技術革新等の流れも加わり、わが国の金融環境は大きな転換点を迎えております。そうしたなかにあつて、狭域高密度に店舗配置された当金庫では、その役職員個人が地域住民の一員であり、お客さまと地縁・人縁の信頼関係を育み、地域コミュニティの一員として地方創生に取り組んでおり、今後も地域を守る役割を担う信用金庫の社会的使命に基づき、地域社会の繁栄に貢献してまいります。

当金庫の経営理念である「地域の成長と前進を求め みなさまと共に歩みます」を実践するために、確固たる信念と長年積み重ねてきた経験と知見を基に、全力を傾注してまいります。

みなさまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

■ 経営理念

地域の成長と前進を求め みなさまと共に歩みます

- 1 私たちは、地域金融機関として、心のこもったサービスを提供し、地元の繁栄に貢献します。
- 2 私たちは、健全経営を基本として自己資本の充実につとめ、社会的責任を遂行します。
- 3 私たちは、創造的で夢と感動のある職場をつくり、お客さまの信頼に応えます。

■ 基本方針

(1) 支援力・営業力の深化×進化

好環境を生み出す持続可能な地域社会の実現に向けて、「独自性・特性や強み」を活かした取り組みを“深化×進化”させ、価値ある課題解決策の提案と円滑な資金供給を通じ、必要不可欠な金融機関として、より一層存在感を高めていく。

(2) 経営力・内部態勢の深化×進化

地元第一・お客さま第一の経営を実践するための強固な経営基盤の構築に向けて、収益性、生産性・効率性、健全性等の向上に資する取り組みを“深化×進化”させ、安心できる金融機関として、より一層信頼度を高めていく。

(3) 人材力・組織力の深化×進化

全ての人材が輝くための組織づくりに向けて、地域やお客さまの課題解決を担う人材の育成や働き方改革等に向けた取り組みを“深化×進化”させ、相談しやすい金融機関として、より一層好感度を高めていく。

(4) 業界総合力の深化×進化

地域の枠を超えた新たな価値の創造に向けて、業界の総合力の発揮に資する取り組みを“深化×進化”させ、地域との共生を目指す金融機関として、より一層地域との一体感を高めていく。

CONTENTS

経営理念、基本方針	1
みやしんと地域社会	4
顧客保護等管理方針	6
個人情報保護宣言	6
お客さま本位の	
業務運営に関する基本方針	6
金融商品に係る勧誘方針	6
反社会的勢力に対する基本方針	7
中小企業等金融円滑化のための基本方針	7
マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策基本方針	7
利益相反管理方針の概要	8
個人情報保護に関する質問・苦情・異議の申し立てについて	8
富士宮信用金庫における金融ADRへの取り組み	8
「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み状況	9
みやしん	
お客さま相談プラザのご案内	10
社会貢献活動	14
主要な事業の内容	15
みやしんの健全性	22
業績のご報告	23
当金庫の自己資本の充実の状況等について	33
当金庫の概要	43
総代会制度について	44
当金庫の沿革	46



富士宮信用金庫の プロフィール

本店所在地／富士宮市元城町
31番15号
創立／昭和8年6月5日
預金残高／3,373億円
貸出金残高／1,343億円
自己資本比率／25.55%
店舗数20店舗
業務純益／2億88百万円
経常利益／5億20百万円
当期純利益／4億30百万円
常勤役員数／261人

平成31年3月31日現在